

福島森林管理署白河支署のあらまし

令和8年度版

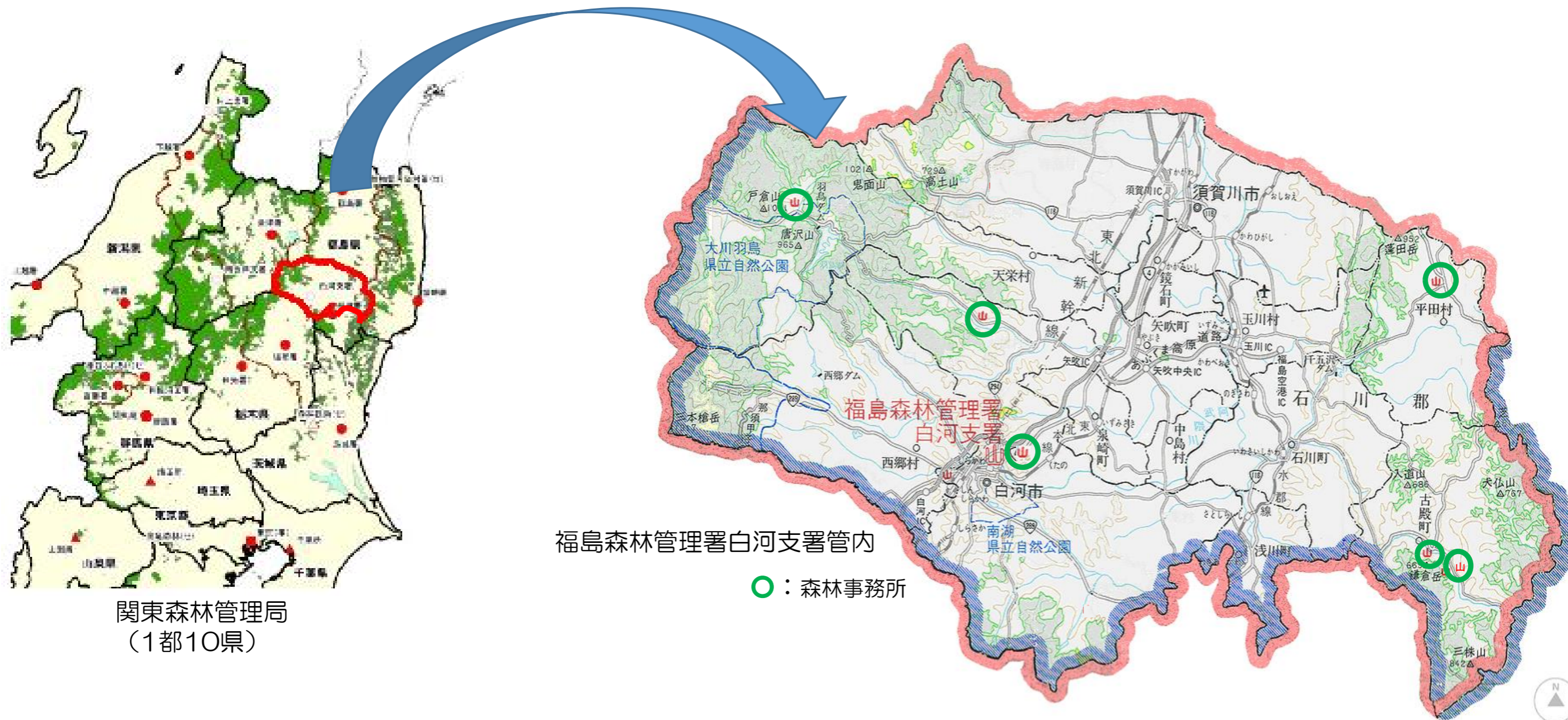


林野庁 関東森林管理局
福島森林管理署白河支署

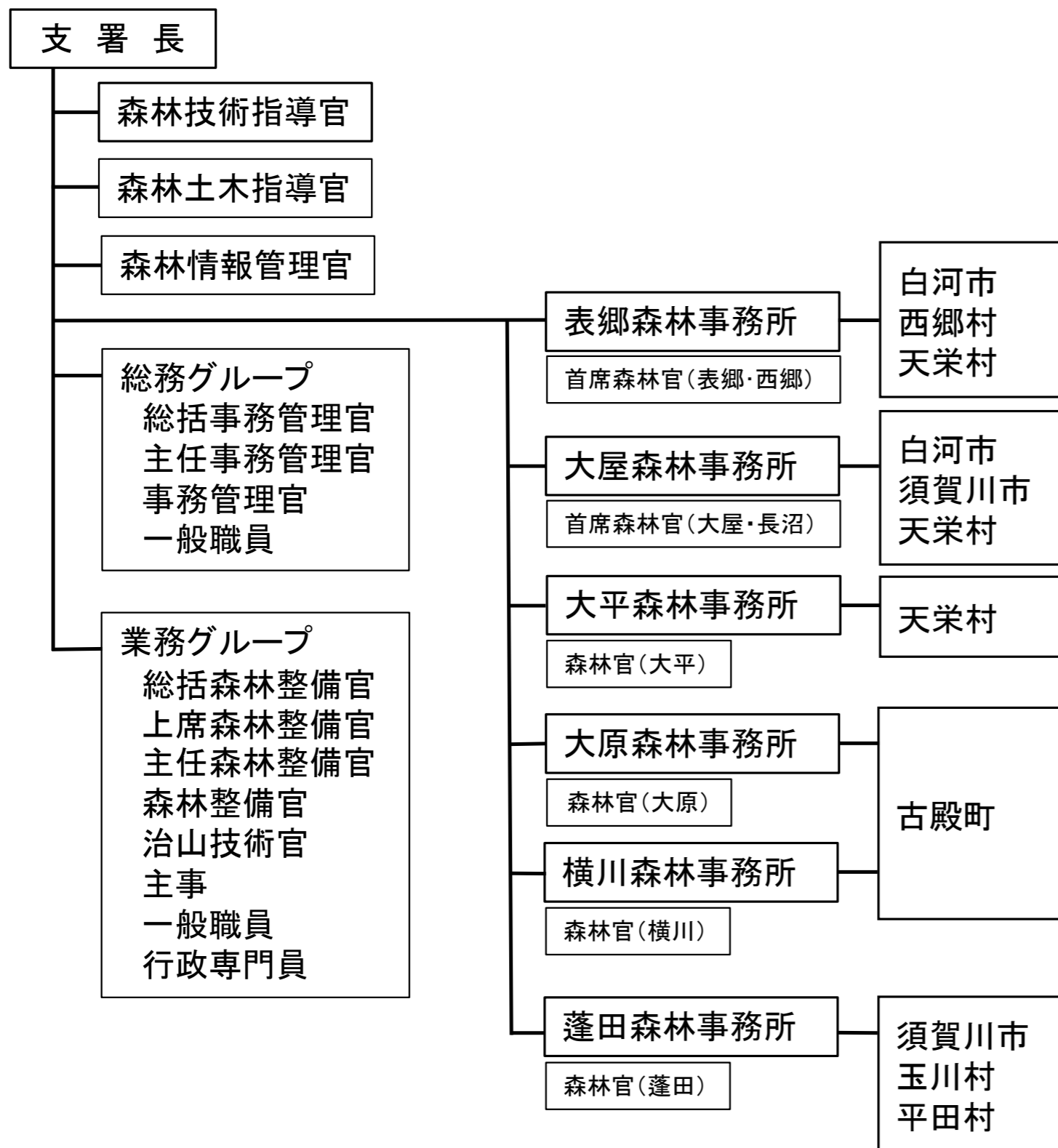
1 概要

福島森林管理署白河支署は、阿武隈川森林計画区内の福島県中通り南部に位置し、管轄する2市5町6村のうち、白河市、西郷村、須賀川市、天栄村、古殿町、平田村、玉川村の7市町村に所在する国有林野約3万4千haを管理しています。

管内では、人工林での木材生産をはじめ、優れた自然景観を有している天然林では、日光国立公園や大川羽鳥県立自然公園などに指定され、山岳地帯においては登山、都市近郊にあっては、ハイキングや自然観察など、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されています。



2 組織図



3 職員数

令和8年4月1日現在

区分	本署	森林事務所						合計
		表郷	大屋	大平	大原	横川	蓬田	
行Ⅰ職員	14	1	1	1	1	1	1	20
行政専門員	1							1
計	15	1	1	1	1	1	1	21

4 国有林野の現況

(1) 市町村別国有林面積

単位:ha

区分	白河市	西郷村	天栄村	須賀川市	古殿町	平田村	玉川村	合計
区域面積	30,532	19,206	22,552	27,943	16,329	9,342	4,667	130,571
国有林	5,006	4,424	13,672	2,683	6,156	1,283	682	33,906
民有林	12,033	7,757	4,763	9,008	7,291	4,371	1,431	46,654
森林計	17,039	13,274	19,144	11,694	13,448	5,654	2,095	82,348
森林率	56%	69%	85%	42%	82%	61%	45%	63%

※区域面積は、「阿武隈川国有林の地域別計画書」（令和6年樹立）による。国有林に森林計画外及び林野庁所管以外の国有林は含まない。

(2) 機能類型

国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進するという方針の下、重視すべき機能に応じ、山地災害防止、自然維持、森林空間利用、水源かん養、快適環境形成の5タイプに区分し、公益林として管理経営に努めています。

機能類型区分	機能類型区分の考え方	面積(ha)
山地災害防止タイプ	山地災害防止機能及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	3,615 (11%)
自然維持タイプ	生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	3,542(10%)
森林空間利用タイプ	保健・レクリエーション機能、文化機能の発揮を第一とすべき森林	1,641 (5%)
水源かん養タイプ	良質な水の安全供給を確保する、水源涵養機能の発揮を第一とする森林	25,240 (74%)

※「阿武隈川国有林の地域別計画書」（令和6年樹立）には、機能類型区分の快適環境形成タイプなし。

5 令和8年度事業予定量

令和8年4月1日現在

収穫量		販売量					
主伐	間伐	立木	製品	うち システム 販売	活用型のうち 列状間伐	うち 一貫作業 (地拵)	土 石
49,458m ³ (57%)	37,516m ³ (151%)						
86,974m ³ (78%)		28,428m ³ (217%)	42,000m ³ (120%)	33,500m ³ (118%)	100%	21ha (60%)	158,524m ³ (85%)

造 林 事 業							林道	治山
地拵	植付	うち コンテナ苗	うち 花粉対策苗	下刈	つる切	除伐・ 除伐Ⅱ類	新設 (1路線)	山腹工 (2箇所)
63ha (50%)	147ha (148%)	147ha (148%)	85ha (163%)	483ha (110%)	4ha (13%)	46ha (45%)	120m (30%)	0.39ha (122%)

() は対前年度比

6 主な事業

(1) 森林整備

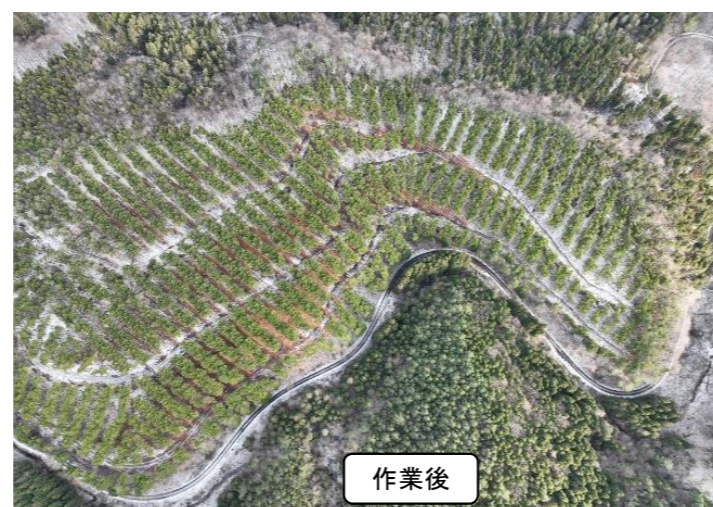
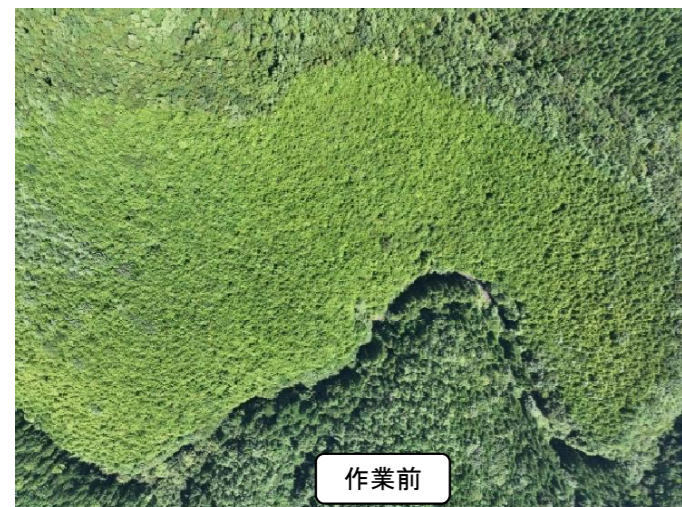
水源のかん養や山地災害の防止、地球温暖化の防止など、森林の持つ公益的機能の維持・増進とともに森林資源の質的充実を図るため森林の整備を行っています。



【植付作業】
コンテナ苗への転換



【保育間伐活用型】
(製品生産)



(2) 木材の安定供給

林産物を持続的かつ計画的に供給し、地域における産業の振興などに応えられるよう、林産物の供給に努めています。



【高性能林業機械
による木材生産】
(製品生産)

※写真はプロセッサー



【生産された丸太】
(システム販売材)

(3) 路網の整備

林産物の搬出や森林整備の効率化を図るため、丈夫で簡易な規格・構造の林道開設や改良工事を計画的に進めています。



【林道開設】
(白河市)

黄金沢林業専用道



【林道改良】
(白河市)

旗宿・金山林道

(4) 国有林の活用

地域の要望に応え、公用・公共用の事業用地や地域の産業の振興、福祉の向上等の目的で、国有林野の貸付等を行っています。



【越代のサクラ】
(古殿町)

天然記念物管理用地敷



【羽鳥湖遊歩道】
(天栄村)

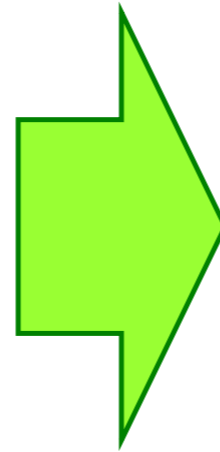
歩道敷

(5) 国土の保全

国民の生命・財産を山地災害から守ることを目的として、森林の公益的機能を十分に発揮させるため、治山事業により森林の防災機能を維持増進させています。

【戸倉山復旧治山事業】(天栄村)

平成23年7月
法面崩落災害



令和7年11月
復旧の様子

【隈戸地区予防治山事業】(白河市)

令和7年7月
施工前



令和7年11月
施工後

(6) ニホンジカの生息状況

白河支署管内では、まだ深刻な林業被害は確認されていないものの、一部地域においては食害が見られており、近年被害状況が周辺地域へ拡大しつつあります。

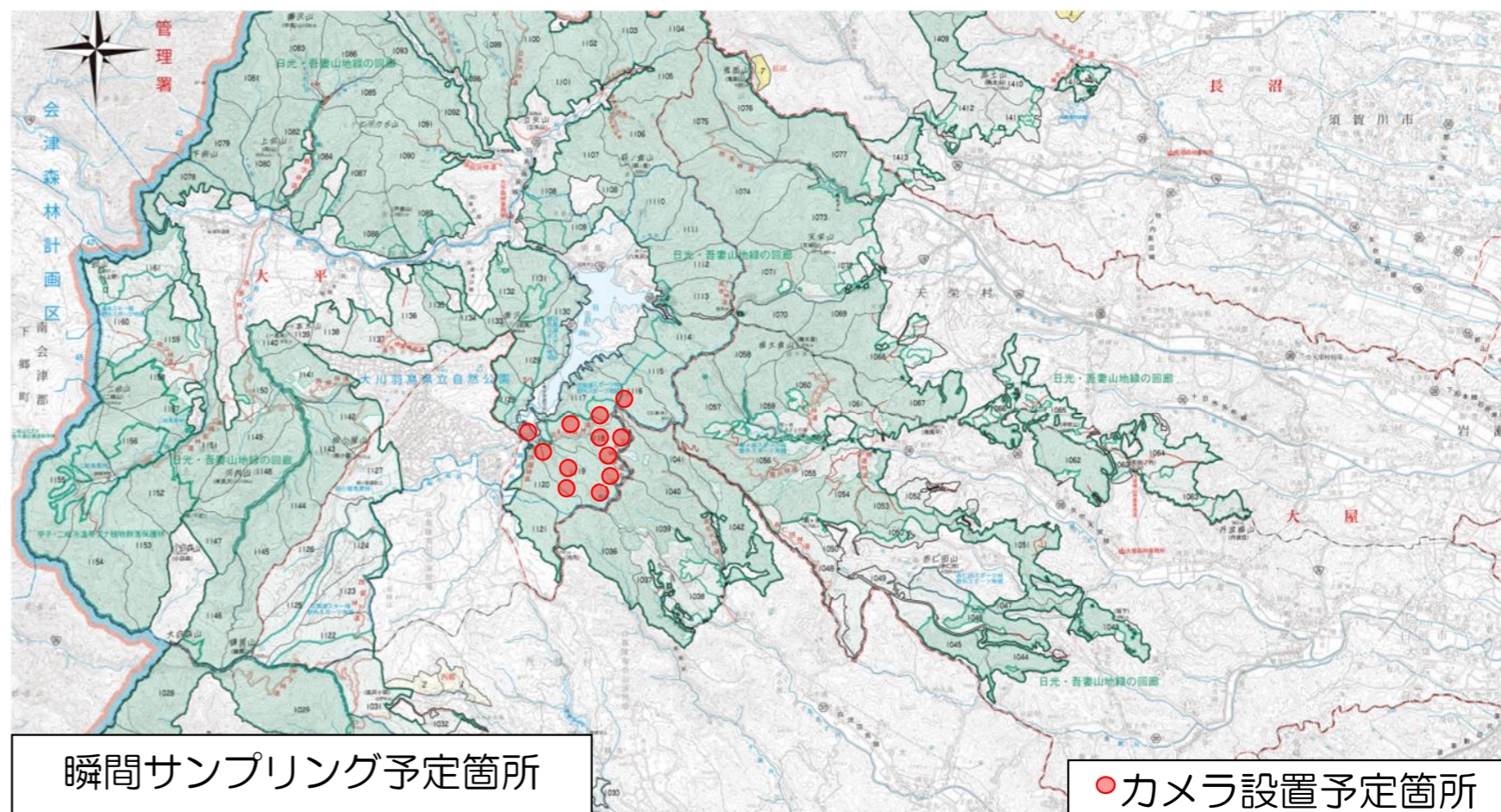
令和8年度からニホンジカ対策として、植栽木に忌避剤散布を実施します。



ニホンジカによる剥皮



ニホンジカによる採餌



【瞬間サンプリング法による撮影の実施】

瞬間サンプリング法とは、カメラを1km²辺り12台以上設置し、5分ごとのタイムラプス撮影でシカの撮影を行います。頭数を計測することにより1km²の範囲から面積拡大で5km²程度の個体数の推計に適用し、個体数から今後の施業等に反映していきます。



カメラの設置状況と撮影範囲イメージ



令和7年10月20日
(西郷村羽太)

(7) カシノナガキクイムシによる被害状況

以前より隣接署での被害が確認されていましたが、当支署管内においては古殿町で平成30年度に被害が確認されました。

令和7年度は、西郷村でも確認されています。

被害対策としては、令和4・5年度に一部地域において立木くん蒸による被害木処理を実施しました。令和6・7年は、試験的にかしながホイホイを設置し、秋期にカシノナガキクイムシの捕獲状況を確認しています。



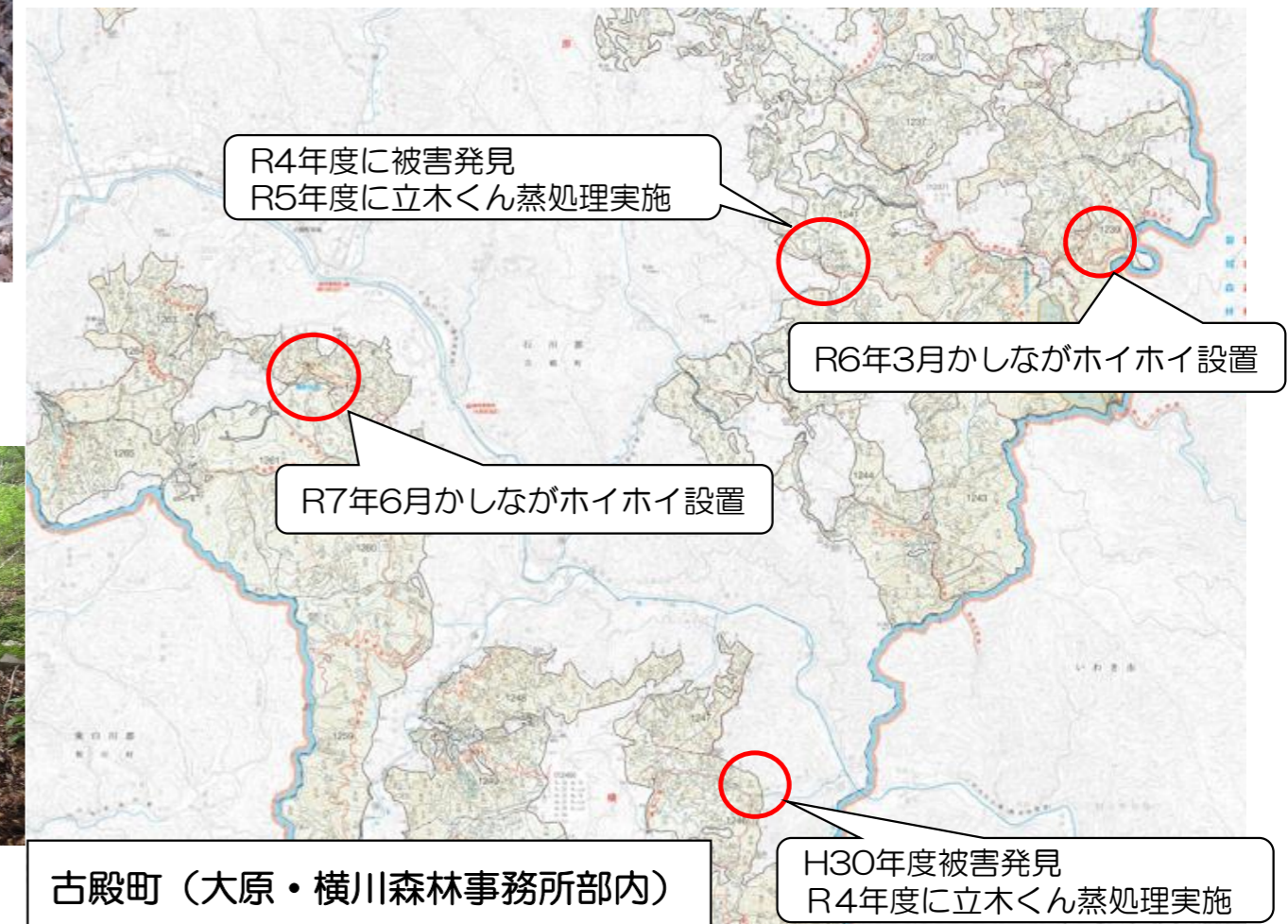
令和7年8月29日 西白河郡西郷村小田倉



ナラ類 フラス発生状況

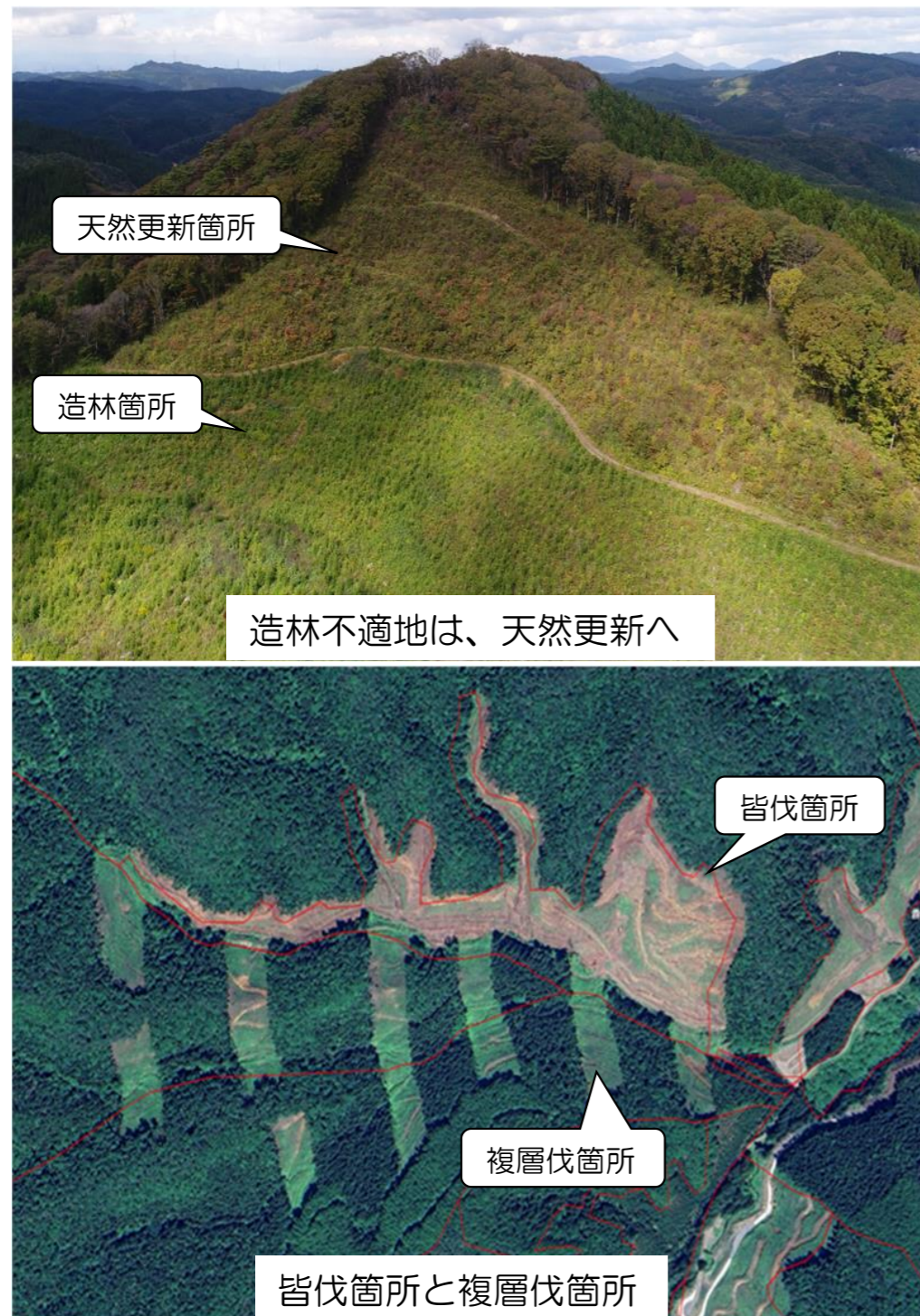


職員によるかしながホイホイの試験的な設置



(8) 多様な森林づくり

アカマツや広葉樹が優占してしまった造林不適地は、適地適木に配慮した更新方法や収穫除地とすることで、造林経費の削減、低コスト化を図り、林相の多様な森林へと誘導します。また、伐採方法も皆伐、複層伐と目的に合った方法を取り入れています。



この伐採箇所は、スギを植栽する計画でしたが、地元自治体からの要望を受け、広葉樹及びカラマツを植栽することとしました。周辺が、園地となっており、紅葉等を一体的に活用したいとの要望を受け、実施することとしています。